

アジア研究叢書

110

ティムール・ダタバエフ 著

社会主義後のウズベキスタン

——変わる国と揺れる人々の心

アジア経済研究所

序章——自分の国はどこ？ 失われた国の行方 3

- I ウズベキスタンの基礎データ 7
- II ソビエト政権下でのウズベキスタンの形成 13
- III ウズベキスタンにおけるペレストロイカ 16

第1章 ソ連邦崩壊後の国家・民族の認識 21

- I ソ連邦から独立国家としてのウズベキスタンへ 22
 - 1 ソ連時代の国家認識 22
 - 2 「ソビエト国民」形成の試みと失敗 24

II ソ連邦崩壊後の国家建設と多民族社会 31

- 1 新国家建設と多民族社会 31
- 2 民族間の相互イメージ 33
- III 言語と人々のアイデンティティ 40
 - 1 変わりゆくロシア語の地位 40
 - 2 ロシア化された人々——「ルシー」 43
 - 3 外国との関係とロシア語の地位の変容 44
 - 4 ウズベク語の表記の変容 46

第2章 人々のアイデンティティを形づくるもの 49

- I ウズベキスタンにおける宗教 50
 - 1 ソビエト政権とウズベキスタンのイスラーム 51
 - 2 独立後のイスラーム 58
 - 3 イスラーム原理主義とその原因 62

II ウズベキスタンのマハッラ

- 1 マハッラの伝統的な機能 67
- 2 人々から見たソ連時代のマハッラ 69
- 3 独立後のマハッラの姿 75

III 郷土意識

- 1 ソビエト政権とウズベキスタンの地域主義 79
- 2 独立後の地域主義 82

第3章 国民の生活と政治

I 変わりゆく政府と国民の関係

- 1 政治改革と国民生活 89
- 2 ターダク、ソ連邦崩壊と「未成熟」な独立 92

II 独立後の政権、民主化と政治のあり方

- 1 政治環境の変化 97
- 2 改革の試練 105
- 3 安全優先の時期、九・一一とその後 115

第4章 国民の生活と経済

I 市場経済への転換と国民生活への影響

- 1 変わりゆく公共サービスと低下する生活レベル 125
- 2 国民から見た政府の経済改革 128

II 世帯構成と収入

- 1 家族構成 130
- 2 世帯収入 131

III 過去と現在の生活に対する評価

- 1 破綻した国債制度 135
- 2 生活の変化から精神面の変化へ 137
- 3 ソ連時代へのノスタルジー 141

- 4 「国頼み」の考え方 147
- 5 個人レベルでの国家からの自立 151
- 6 転換期の教育 153
- 7 悪い子は良い子に 157

第5章

ソ連邦崩壊後の家庭内関係と家族像

161

I ソ連邦崩壊後のウズベキスタンにおける家族像

162

- 1 人々は何を重要だと考えているか 162
- 2 親は子供たちに何を望むか 165

II 結婚のあり方と結婚観の変化

169

- 1 ウズベキスタンにおける結婚の重要性 169
- 2 お見合い 170
- 3 婚約 173
- 4 結婚式 176

II 結婚観の変化

179

- 1 離婚率の増加 179
- 2 夫婦関係の変容 181

第6章

「未来の偉大な国」にはどのような未来があるのか

185

I イデオロギーおよび国家に対する信頼の変化

187

II 国家に対する国民の姿勢

191

- 1 低下する政府機関への信頼 191
- 2 国民の政治参加 199

II 国民の政府に対する期待

202

□ おわりに

207

ウズベキスタンと日本 212